

問 東二再稼働は 住民に受け止められたか

答 一定の支持が得られたものと認識



新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 村長選挙で「東海第二発電所の再稼働は必要」というスタンスを明確にして挑み、選挙期間中の出陣式、街頭演説会、個人演説会で東海第二発電所の再稼働が必要と訴えた結果、4年前と比較して投票率が約3%低下したが山田村長の得票率は73.2%だった。まさに圧勝で、選挙結果をどう受け止めているのか。

答 7割以上の方に原子力政策を含む村政運営全体を評価され、当選を果たした。再稼働に係る住民の意向を一定程度把握でき、判断

材料の一つとなると考えている。

問 約3年前からの県議選、村議選、そして村長選の選挙結果を見れば東海第二発電所の再稼働に対する住民投票とみなしてよいのでは。

答 東海第二発電所の再稼働に関して住民投票はそぐわないと言っているが、今回の選挙結果を踏まえれば、私が示した方向性には、一定の支持が得られたものと認識しており、住民の意向はある程度把握できたと考える。



9月7日に行われた東海村長選挙の開票作業の様子

委員会レポート

総務
委員会

常陸那珂火力発電所を視察しました

7月25日、総務委員会はひたちなか市議会総務生活委員会協議会との合同研修会として、常陸那珂火力発電所の視察を行いました。この研修は、ひたちなか地区に関する理解を深めることを目的に、隔年で実施されているものです。

視察では、発電所に設置された電気集塵機や排煙脱硫装置などの環境対策設備について説明を受け、地域の環境保全に向けた取り組みを学びました。また、次世代の発電技術に関する紹介もあり、持続可能なエネルギー供給への展望を感じることができました。

さらに、発電に使用される石炭の輸送において、常陸那珂港が重要な役割を果たしていることも確認し、地域インフラとの連携の大切さを再認識する機会となりました。

研修の最後にはひたちなか市議会議員との意見交換も行われ、地域の課題や今後の展望について活発な議論を交わし大変有意義な研修となりました。



ひたちなか市議会と東海村議会の集合写真